

令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	スポーツ大会・合宿誘致等を通じた交流促進・地域活性化			予算施策コード	sb02	
担当部局名	スポーツ・文化部 スポーツ局	地域スポーツ課オリパラ推進室	評価責任者	室長 武智 公博	連絡先	5570

1 施策の内容

施策の目標	スポーツイベントや東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿等の誘致を積極的・効率的に進めるとともに、本県での聖火リレーの実施を通じて東京大会への機運を醸成し、スポーツへの意識の高揚や地域の活性化につなげる。
これまでの取組み	本県では、えひめ国体を契機に、県民のスポーツへの関心が一段と高まるとともに、各地域の競技施設や設備が大幅に改善されており、大会開催のノウハウを生かしたスポーツイベントの開催支援や合宿の誘致・定着化に取り組み、競技スポーツの振興や、スポーツによる地域活性化、交流人口の拡大を図っている。 また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、「東京大会」という。)の開催に当たり、海外の代表選手の事前合宿の誘致やホストタウン交流事業に取り組むとともに、オリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火フェスティバルの実施に向けた準備を進めてきた。世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い1年延期された東京大会においては、聖火リレー、パラ聖火フェスティバルの規模縮小や事前合宿断念が相次ぐなど、コロナ禍の影響を大きく受けつつも、県内機運を最大限盛り上げ、県内スポーツの振興や共生社会の実現、地域の活性化に結び付けるための事業に取り組んだ。

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	競技人口(県スポーツ協会登録)の状況				B	県内スポーツコンベンションの参加者数					
選択理由	県民への普及・浸透状況を示す度合いとして、適切な指標であるため。				選択理由	スポーツによる交流人口の推移を示す指標として適切であるため。					
算定方法	県スポーツ協会への団体登録人数				算定方法	(公財)松山観光コンベンション協会のコンベンション統計					
成果と指標の関係	中	指標の種類 (ストック/フロー)	フロー	指標の種類 (プラスマイナス)	+	成果と指標の関係	強	指標の種類 (ストック/フロー)	フロー	指標の種類 (プラスマイナス)	+

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	人			人			千円					
元年度	39000	36391	93.3%	320000	309811	96.8%	94,698	11,120		83,578		80,314
2年度	39000	31140	79.8%	330000	未集計	-	220,652	49,317	131,003	40,332	194,423	69,693
3年度	39000	32369	83.0%	330000	未集計	-	248,346	14,159	131,267	102,920	28,796	38,720
4年度 目標値	39000			廃止			24,802	8,972		15,830		
最終目標	39000			350000								

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	県の主要施策である「スポーツ立県えひめ」を実現するには、愛媛県スポーツ推進計画に掲げる「スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化」を着実に推進していく必要がある。 特に、令和3年度に開催された東京大会に際しては、聖火リレーやホストタウン交流を実施することで、県内全域における機運醸成、スポーツを通じた国際交流の促進、共生社会の実現を図っていくために、県の主体的な取り組みが必要となった。 今後とも、コロナ後を見据えた交流人口拡大を図るため、県内各競技団体と連携しながら戦略的に全国規模大会やスポーツイベントの誘致に取り組む必要があり、事業効果を県全体に波及させていくためにも、県の関与が重要である。					
高い								
成果指標A		説明	平成29年に開催されたえひめ国体・えひめ大会により、競技力の向上や底辺の拡大が図られるとともに、東京オリンピック・パラリンピックでの県人選手の活躍などにより、県民のスポーツへの関心も高まっており、これらの成果を一過性のものとすることなく、スポーツに触れる機会の拡大、競技力の維持向上などに取り組むことで、少子高齢化による競技人口減少を食い止め、拡大につなげていく必要がある。					
成果動向	横這い							
成果向上余地	成果向上が可能							
成果指標B		説明	県等の積極的な取り組みにより、全国規模、世界規模の大会や合宿の誘致が実現しており、県内外からの参加者数も上昇傾向にある。					
成果動向	横這い							
成果向上余地	成果向上が可能							
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.00	順調・向上	成果向上余地	2.00	大幅な成果向上が可能		

今後予測される環境変化	東京オリンピック・パラリンピック大会終了後は、日本代表の強化合宿等が減少されるほか、大会用に整備された首都圏のスポーツ施設利用が大幅に拡大することが見込まれ、地方でのスポーツイベント誘致活動の一層の強化が予想される。					
-------------	--	--	--	--	--	--

3 施策の今後の方向性

<p>コロナ収束後を見据え、本県の充実した施設やこれまで培ったノウハウを生かしたスポーツイベントの開催支援や合宿の誘致・定着化に積極的に取り組み、競技スポーツの振興や、スポーツによる地域活性化、交流人口の拡大を図る。</p> <p>東京大会後も、ホストタウン相手国・地域等との友好関係をレガシーとして継承し、スポーツを通じた交流を継続発展させ、地元選手や次世代アスリートの国際経験の蓄積や技術力の向上につなげることが重要であり、次代を担うジュニア世代による交流を中心に、これまで築いてきた国内外の協力関係を生かしながら、海外とのスポーツ交流を積極的に推進する。</p>
--

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名				s b 02	スポーツ大会・合宿誘致等を通じた交流促進・地域活性化			
1		東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー開催事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R3年度)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価 成果動向 3成果横ばい 向上 余地 2一定の成果向上余 地あり 新型コロナウイルス感染症の影響からイベントを主催することができなかったが、感染拡大の防止対策を行った上で、既存のイベントを活用することで、機運の醸成を図ることができた。 見直し方向性 方向1 休止・廃止 方向2 方向3 オリパラ大会の開催終了に伴う事業廃止			
指標種類1	指標名称1			単位	計画	6000	6000	6000	-	事業費計	15,293	18,849	43,788	0				
成果	+	70-	聖火リレー関係イベントの参加人数	人	実績	7800	5350	750		国費	168			-				
					達成率	130.00%	89.17%	12.50%		その他				-				
指標種類2	指標名称2			単位	計画	6	6	6	-	県費	15,125	18,849	43,788	-				
活動	+	70-	聖火リレー実行委員会開催回数	件	実績	11	4	3		事業費計	15,124	18,849	14,164					
					達成率	183.33%	66.67%	50.00%		国費	85							
指標種類3	指標名称3			単位	計画	3	3	3	-	その他								
活動	+	70-	聖火リレー関係イベント開催回数	回	実績	1	1	1		県費	15,039	18,849	14,164					
					達成率	33.33%	33.33%	33.33%		人役	3.2	2.4	1.7					
実施期間	初期	終期	事業の概要							人件費	21,780	16,239	10,285					
	H30	R3	東京オリンピック・パラリンピックに先駆けて全国を巡回するオリンピック聖火リレーやパラリンピック聖火フェスティバルを開催し、大会機運の醸成を図る。															
2		東京オリンピック事前合宿等支援事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R3年度)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価 成果動向 3成果横ばい 向上 余地 2一定の成果向上余 地あり コロナ拡大により、県内ホストタウン自治体での東京オリパラ前後の海外選手の事前合宿等は中止が相次いだ。オンライン等様々な形で応援の気持ちを届けた。唯一実施されたモザンビーク・パラ陸上の事前合宿や事後交流では、万全の感染症対策を講じつつ、充実した合宿環境や多様な交流機会を提供できた。 見直し方向性 方向1 休止・廃止 方向2 方向3 オリパラ大会の開催終了に伴う事業廃止			
指標種類1	指標名称1			単位	計画	39000	39000	39000	-	事業費計	43,192	3,355	173,279	0				
成果	+	70-	県スポーツ協会への団体登録人数	人	実績	36391	31140	32369		国費				-				
					達成率	93.31%	79.85%	83.00%		その他			131,135	-				
指標種類2	指標名称2			単位	計画	5	10	8	-	県費	43,192	3,355	42,144	-				
活動	+	70-	県内での事前合宿実施件数	件	実績	10	0	1		事業費計	35,894	2,906	4,699					
					達成率	200.00%	0.00%	12.50%		国費				2,314				
指標種類3	指標名称3			単位	計画	-	2	8	-	その他				2,314				
活動	+	70-	代表選手等とのオンライン交流件数	件	実績	-	1	5		県費	35,894	2,906	2,385					
					達成率	-	50.00%	62.50%		人役	3.0	2.0	3.0					
実施期間	初期	終期	事業の概要							人件費	20,418	13,532	18,150					
	H30	R3	県内で実施される海外チームの事前合宿を支援するとともに、交流事業等を通じて県民と触れ合う機会を設けることにより、東京2020大会に向けた機運醸成、スポーツを通じた国際交流の促進、経済交流の拡大を図る。															
3		国際スポーツ交流推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R3年度)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価 成果動向 3成果横ばい 向上 余地 2一定の成果向上余 地あり 新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限により、計画していた直接的なスポーツ交流は実施できなかったが、関係先との連絡を密に取ることで関係の維持を図り、マレーシアバドミントン協会と友好交流の覚書締結式をオンラインで開催するなど、一定の成果を得ることができた。 見直し方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3 海外とのスポーツを通じた交流を継続発展させ、地元選手や次世代アスリートの国際経験の蓄積や技術力の向上につなげることが重要であることから、当面、オンラインを活用した交流事業等により相手先との関係強化を図りつつ、コロナ収束後の直接交流につなげる。			
指標種類1	指標名称1			単位	計画	17	22	23	23	事業費計	2,079	7,789	8,619	8,445				
成果	+	スポーツ	海外自治体等との交流協定締結数	件	実績	21	21	21		国費	647	3,683	4,098	4,002				
					達成率	123.53%	95.45%	91.30%		その他								
指標種類2	指標名称2			単位	計画	1	2	2	2	県費	1,432	4,106	4,521	4,443				
活動	+	70-	海外選手等との交流件数	件	実績	1	0	0		事業費計	1,667	0	600					
					達成率	100.00%	0.00%	0.00%		国費	248	0	222					
指標種類3	指標名称3			単位	計画	-	-	8	8	その他								
活動	+	70-	オンライン交流件数	件	実績	-	-	2		県費	1,419	0	378					
					達成率	-	-	25.00%		人役	0.7	0.0	0.5					
実施期間	初期	終期	事業の概要							人件費	4,765		3,025					
	H26	R6	東京2020大会でのホストタウン相手国・地域等の選手団の受入れや県内選手の派遣、コロナ禍でも実施可能なスポーツ交流を行うことで、更なる友好関係の強化、県内競技力の向上を図る。															

4 スポーツ交流推進事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり				
指標種類1	指標名称1			単位	計画	39000	39000	39000	39000	39000	事業費計	12,640	11,437	11,437	10,357	評価 東京オリパラ大会の開催により県民のスポーツに対する関心が高まるとともに、県内競技団体においてもスポーツ大会等イベントの誘致に積極的に取り組んできたが、新型コロナの影響により多くの県内大会が見送られることとなったため実施件数の減少が見られた。	方向1 このまま継続 方向2 方向3	見直し 方向性				
成果	+	70	県スポーツ協会への団体登録人数	人	実績	36391	31140	32369	達成率	93.31%	79.85%	83.00%	国費	4,970	4,970				4,970	4,970		
指標種類2	指標名称2			単位	計画	10	11	12	13	-	その他											
活動	+	70	スポーツイベント誘致等実績	件	実績	8	5	7	達成率	80.00%	45.45%	58.33%	県費	7,670	6,467				6,467	5,387		
指標種類3	指標名称3			単位	計画	9	9	9	9	-	事業費計	10,605	4,581	5,535	方向1 このまま継続 方向2 方向3				見直し 方向性			
活動	+	70	新規スポーツ大会等開催実績	件	実績	6	0	1	達成率	66.67%	0.00%	11.11%	国費	3,248						1,734	2,168	
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.4	0.4	0.4									
H26	R4	えひめ国体を契機として、充実した施設やノウハウを生かしたスポーツイベントの開催支援や合宿の誘致・定着化に取り組み、競技スポーツの振興や、スポーツによる地域活性化、交流人口の拡大を図る。							人件費	2,723	2,707	2,420										

5 スポーツイベント等誘致戦略費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり				
指標種類1	指標名称1			単位	計画	-	-	-	650	1000	事業費計	11,000	6,000	6,000	6,000	評価 新型コロナの影響により、スポーツイベントやオリンピック事前合宿等の一部中止となるなど、当初予定していた誘致活動が困難ではあったものの、JOCジュニアオリンピック陸上競技大会や全国知的障害者水泳競技大会などコロナ禍における柔軟な誘致活動を実施することができた。	方向1 このまま継続 方向2 方向3	見直し 方向性				
成果	+	70	誘致スポーツイベントによる来県者数	数	実績	-	-	-	達成率													
指標種類2	指標名称2			単位	計画	10	11	12	13	-	その他											
活動	+	70	スポーツイベント誘致等実績	件	実績	8	5	7	達成率	80.00%	45.45%	58.33%	県費	11,000	6,000				6,000	6,000		
指標種類3	指標名称3			単位	計画	5	10	10	-	-	事業費計	5,813	1,750	3,798	方向1 このまま継続 方向2 方向3				見直し 方向性			
活動	+	70	東京オリンピック等事前合宿誘致件数	件	実績	10	0	1	達成率	200.00%	0.00%	10.00%	国費									
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.4	0.8	0.8									
R元	地域活性化に資するスポーツイベントやオリンピック事前合宿の戦略的な誘致に取り組むため、中央競技団体等や相手国・地域に対し、プロモーションや県内視察を働きかける。							人件費	2,723	5,413	4,840											

